

平成31年度 猪名川町・小学校 学習到達度調査の結果について

■ 調査目的

- 猪名川町内の小学校児童の学習状況を調査し、学習指導要領に定められた学習内容の定着状況を把握するとともに、今後の学力向上および指導の改善に資する。

■ 調査内容

- 調査目的に基づき、学習指導要領に定める内容について、基礎・基本および活用の力を測る問題で構成した。

■ 調査対象

- 猪名川町内の公立小学校5年生の児童
- 調査対象教科は、国語・算数

■ 調査日

平成31年4月18日（木）

■ 調査結果

【小学校の調査結果】

		猪名川町全体 正答率 (%)	全国平均 正答率 (%)	目標値 (%)	全国平均 との差	受験者数
小学校・ 5年生	国語	67.2	73.8	69.6	▲ 6.6	309
	算数	59.5	67.3	66.1	▲ 7.8	309

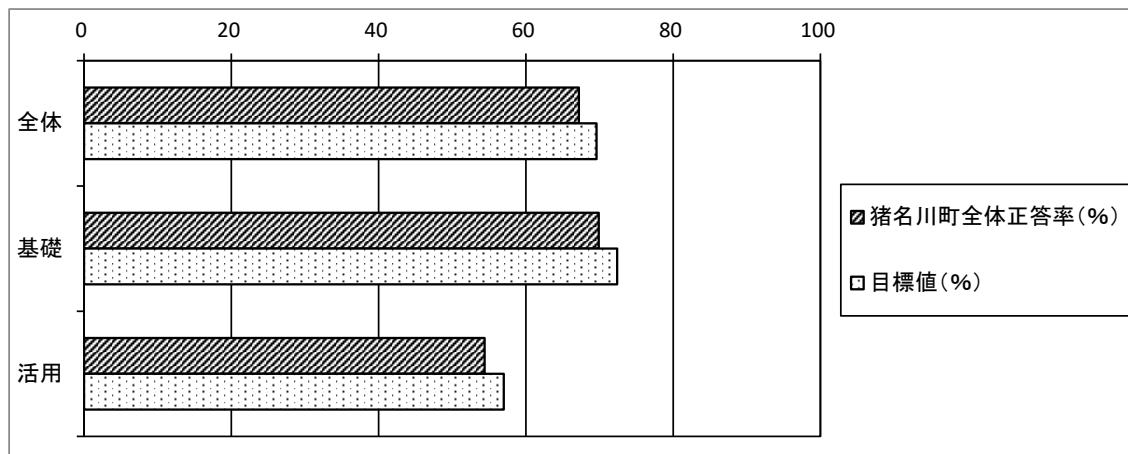
※「目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合。出題の形式や解答の形式により、難易度を算出する。

町全体の正答率は国語は、ほぼ目標値と同程度であるが、算数は目標値を6.6ポイント下回っている。

■小学校5年生 国語

(1) 基礎・活用正答率

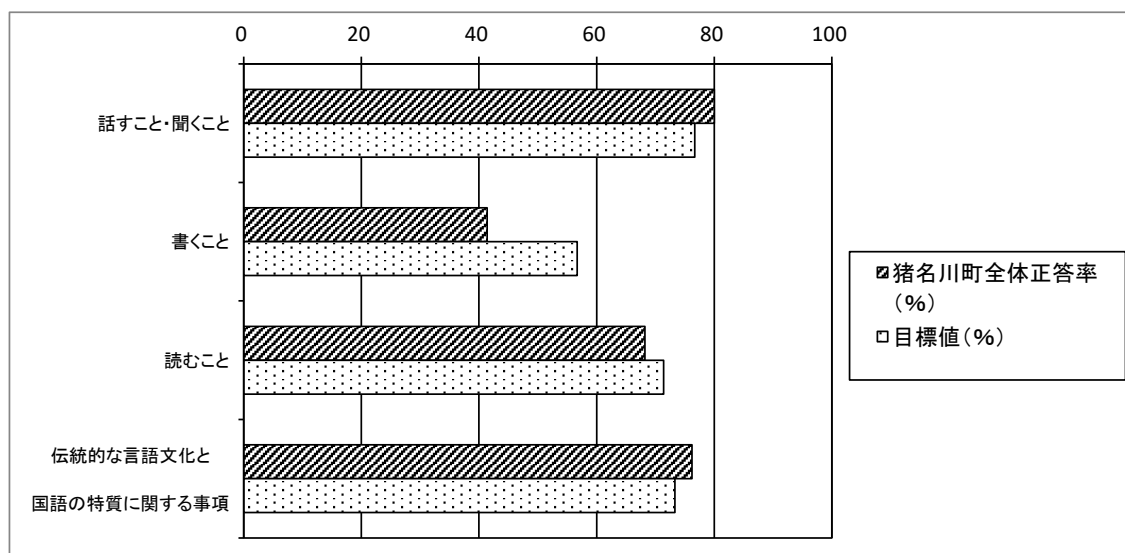
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	67.2	69.9	54.4
目標値(%)	69.6	72.4	57.0
目標値との差	▲ 2.4	▲ 2.5	▲ 2.6



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は69.9%と目標値を2.5ポイント下回っている。活用問題については、54.4%と目標値を2.6ポイント下回っており、課題がある。

(2) 領域別正答率

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と・国語の特質に関する事項
猪名川町全体正答率(%)	80.0	41.4	68.2	76.2
目標値(%)	76.7	56.7	71.4	73.3
目標値との差	3.3	▲ 15.3	▲ 3.2	2.9

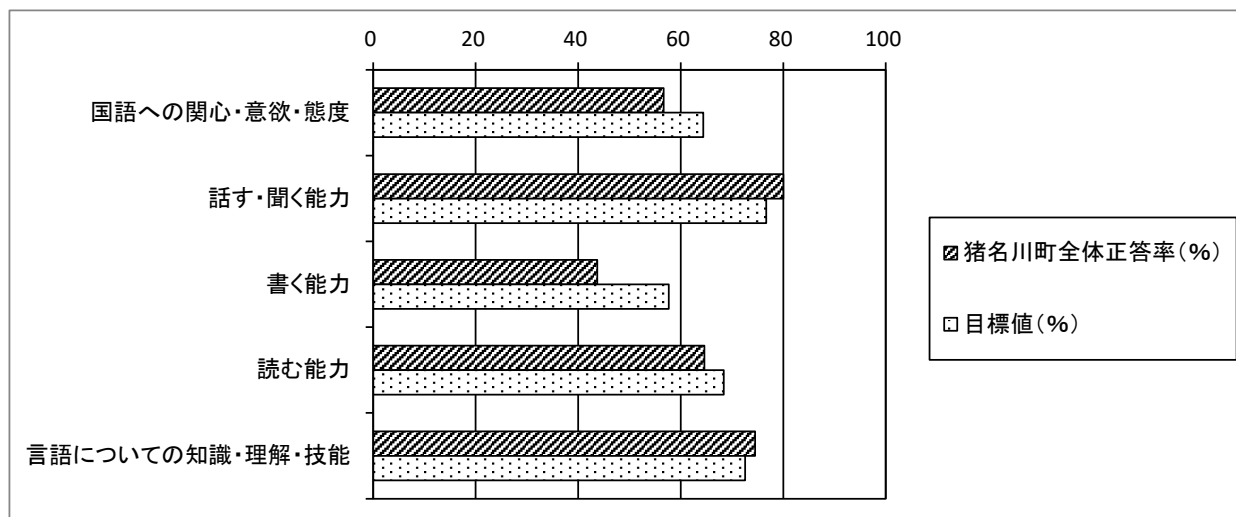


●領域別に見ると、昨年度は「話すこと・聞くこと」「読むこと」が下回っていたが、今年度は「書くこと」「読むこと」の項目で目標値を下回り、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

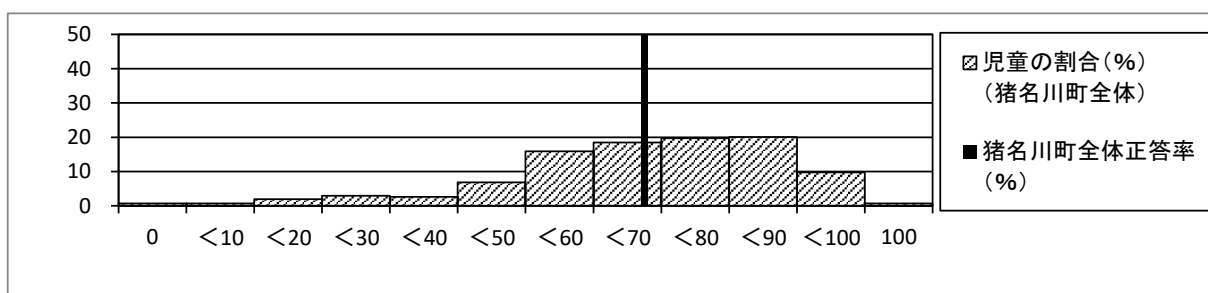
	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
猪名川町全体正答率(%)	56.7	80.0	43.7	64.6	74.5
目標値(%)	64.4	76.7	57.7	68.4	72.6
目標値との差	▲ 7.7	3.3	▲ 14.0	▲ 3.8	1.9



●観点別に見ると、昨年度は「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」で目標値を下回っていた。今年度は「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」の項目で目標値を下回り、課題がある。

(4) 正答率度数分布

正答率(%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合(%) (猪名川町全体)	0.6	0.6	1.9	2.9	2.6	6.8	15.9	18.4	19.7	20.1	9.7	0.6



●町全体で、正答率80%以上の児童が30.4%と、昨年度の32.5%を下り、正答率50%未満の児童は15.5%と、昨年度より増加し、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問2(2)③

【漢字を書く】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	64.1	70.0	▲ 5.9	76.9	▲ 12.8
出題のねらい	第4学年配当漢字を書くことができる。				
対策	日常よく目にする漢字であっても、いざ書くとすると書けないことが多い。日頃から小テストなどを通して習熟を図るとともに、他教科の書く活動などの中でも、既習漢字を使うように指導することが大切である。				

大問5(3)

【説明文の内ようを読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	27.5	55.0	▲ 27.5	40.4	▲ 12.9
出題のねらい	段落のまとまりを理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。				
対策	文章を意味段落で分け、文章全体の構造を捉える問題である。説明文が何について書かれた文章であるのかを理解するためには、文章全体において、各段落がどのような役割をもつのかを捉えることが大切である。当該段落は、問いかけの部分か、検証の部分か、結論の部分かなどを意識し、検討しながら読み進めることを指導したい。				

大問6(2)

【ポスターを作る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	26.4	40.0	▲ 13.6	37.9	▲ 11.5
出題のねらい	情報を適切に読み取り、ポスターの文を書くことができる。				
対策	【資料】では、最初にトピックセンテンスがあり、次に水不足の理由を述べている。また、「理由は二つあります」という文に対して、「一つは、今年は雨が少ないことです」「もう一つは、市内の水の使用量がふえていることです」とナンバリングが使われている。こうした【資料】の構成を読み取ることができれば、二つの理由は明らかである。理由を一文にまとめる際には、空欄の前に「なぜなら」とあるので、「～から」で呼応させて書くことにも注意させたい。文章の構成を理解することが、情報を適切に得ることにつながる。				

大問7

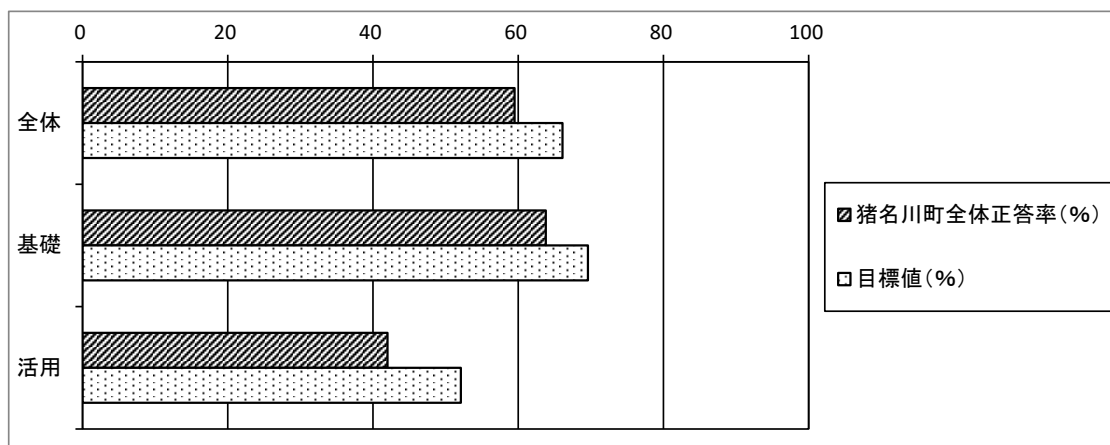
【作文】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	41.7	65.0	▲ 23.3	65.7	▲ 24.0
出題のねらい	指定された長さで文章を書くことができる。				
対策	ある程度の長さの文章を書くためには、何をどのように書くかという見通しをもつことが必要になる。本問では、そうしたヒントが(注意する点)になっている。これを参考にすることで、第一段落と第二段落に何を書かなくてはならないかが分かる。また、児童にとって、書くことの学習で難しいことの一つに、文章の書き出しが挙げられる。問題文にある文言を使えば、書き出しが簡単にできることを、繰り返し指導して習得させたい。				

■小学校5年生 算数

(1) 基礎・活用正答率

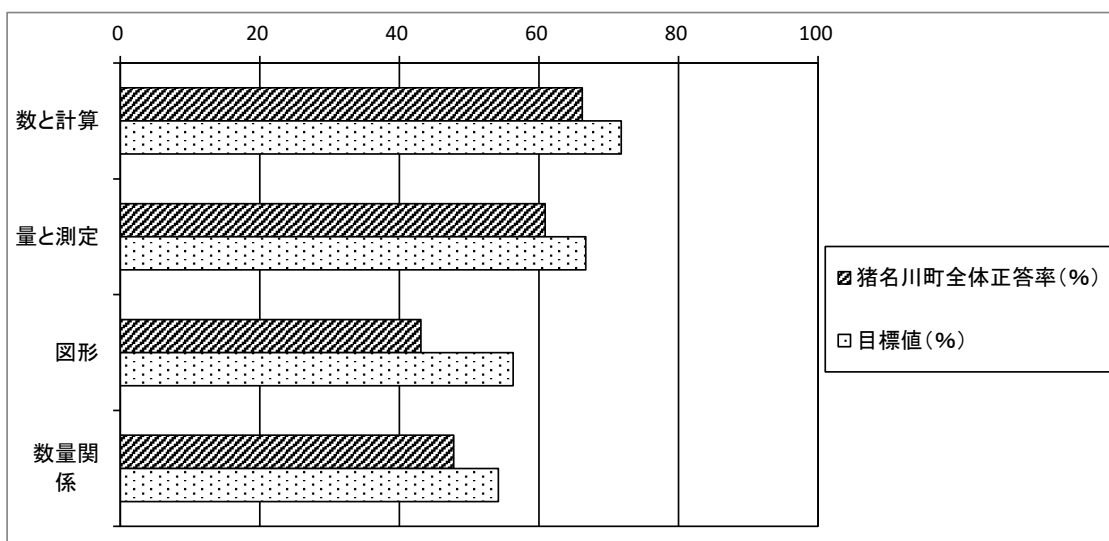
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	59.5	63.8	42.0
目標値(%)	66.1	69.6	52.1
目標値との差	▲ 6.6	▲ 5.8	▲ 10.1



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は63.8%と目標値を5.8ポイント下回り、活用問題は42.0%と目標値を10.1ポイント下回り、課題がある。

(2) 領域別正答率

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
猪名川町全体正答率(%)	66.2	60.9	43.1	47.8
目標値(%)	71.8	66.7	56.3	54.2
目標値との差	▲ 5.6	▲ 5.8	▲ 13.2	▲ 6.4

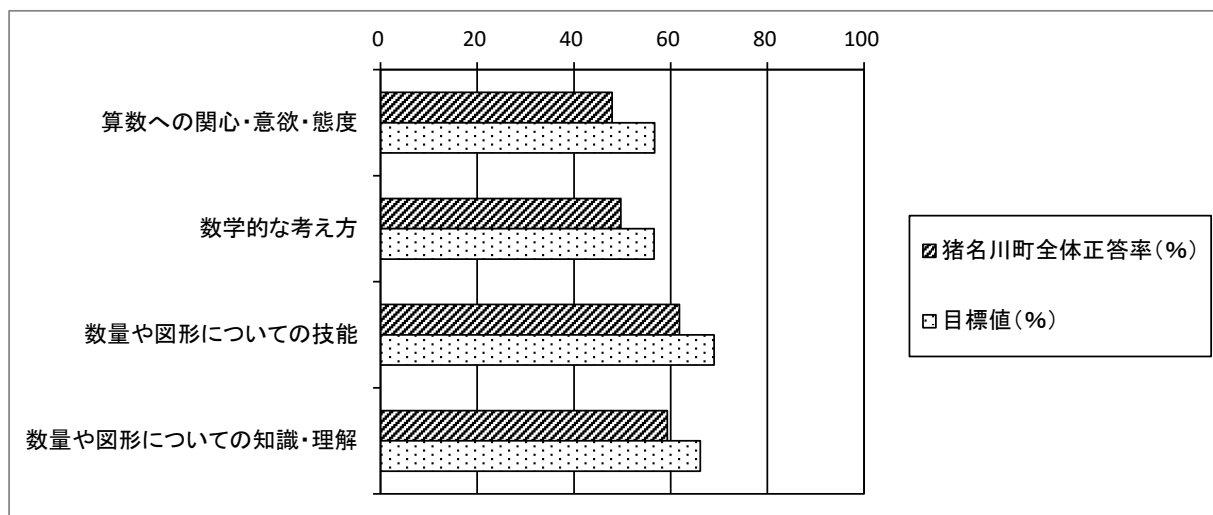


●領域別に見ると、すべての項目が目標値を下回っており、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

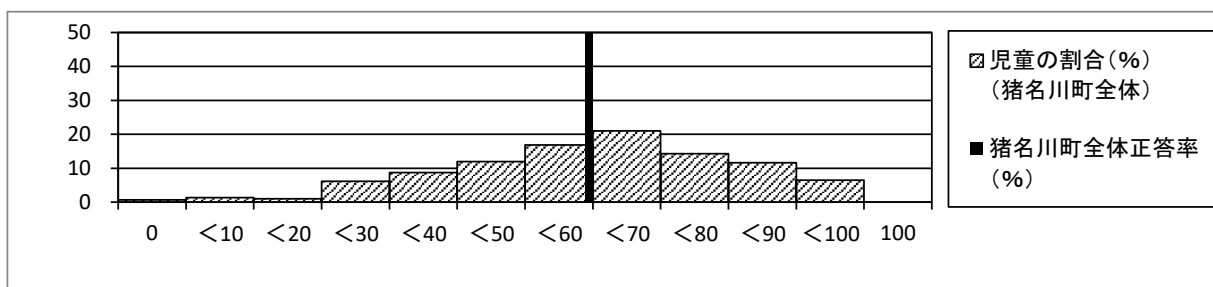
	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
猪名川町全体正答率(%)	47.9	49.7	61.8	59.3
目標値(%)	56.7	56.6	69.0	66.1
目標値との差	▲ 8.8	▲ 6.9	▲ 7.2	▲ 6.8



●観点別に見ると、すべての項目が目標値を下回っており、課題がある。

(4) 正答率度数分布

正答率(%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合(%) (猪名川町全体)	0.6	1.3	1.0	6.1	8.7	12.0	16.8	21.0	14.2	11.7	6.5	0.0



●町全体で、正答率80%以上の児童が18.1%と、昨年度の19.7%を下回っている。
また、正答率30%未満の児童は9.1%と、昨年度の3.2%より増加し、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問1(4)

【小数】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	47.9	65.0	▲ 17.1	67.3	▲ 19.4
出題のねらい	小数第一位－小数第二位(差が純小数)の計算ができる。				
対策	小数は整数と同様に十進位取り記数法で表されているため、小数の加減計算では、位をそろえて計算する必要がある。整数は右にそろえて計算するが、それは位をそろえるためであることを確認させたい。このように、形式ではなく、位をそろえる意味について指導することが大切である。				

大問9

【わり算】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	46.0	60.0	▲ 14.0	62.2	▲ 16.2
出題のねらい	除法の計算のしかたを工夫し、暗算することができる。				
対策	本問のわり算の暗算は、分配法則を活用している。 $96 \div 2 = (80 + 16) \div 2 = 80 \div 2 + 16 \div 2 = 40 + 8 = 48$ となる。暗算などの計算の工夫では、計算のきまりを使うことがよくある。計算のきまりを形式的に指導するのではなく、計算のきまりを使うことの便利さを理解させ、積極的に活用できるようにさせることが大切である。				

大問11(2)

【面積】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	26.9	40.0	▲ 13.1	40.4	▲ 13.5
出題のねらい	身近にあるもののおよその面積を理解している。				
対策	身近なものの面積を推測できるようになるには、基本単位の量感をもつことが大切である。 1cm^2 、 1m^2 など、同じ1でも単位によって面積は異なってくる。 1cm^2 は人差し指の爪と同じくらいの面積、 1m^2 は新聞紙を全面に広げた2枚分より少し大きい面積など、身近なものに置き換えて覚えさせることが大切である。また、 $1\text{cm} \times 1\text{cm}$ の正方形、 $1\text{m} \times 1\text{m}$ の正方形など、長さ×長さに置き換えて、およその大きさを捉えさせる工夫も必要である。				

大問17(2)

【いろいろな形】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	9.9	30.0	▲ 20.1	15.0	▲ 5.1
出題のねらい	地図から情報を読み取り、平行四辺形の特徴を使って2つの道のりが等しくなる理由を説明することができる。				
対策	本問の問題場面は、図形で学習した平行や平行四辺形の性質を、日常生活に活用するものである。学習指導要領においては、学習した内容を、日常生活や算数の学習に活用する力が求められている。そのような力を身に付けさせるためには、本問の問題場面のように、地図などを用いて学習内容を活用する場面を設定していくことも有効である。				